



プロフェッショナル人材戦略拠点事業の継続支援

- プロフェッショナル人材戦略拠点事業について、従来の雇用方式からの転換や人材の定着等の課題の解決を見据えた安定的な財政支援の継続をお願いします。

【提案・要望先】 内閣府

1. 提案・要望内容

(1) プロフェッショナル人材戦略拠点事業および採用人材の定着に向けた効果的な支援

- プロフェッショナル人材戦略拠点の設置・運営にかかる安定的な財政支援の継続
- 採用したプロフェッショナル人材の定着に向けた取組の強化

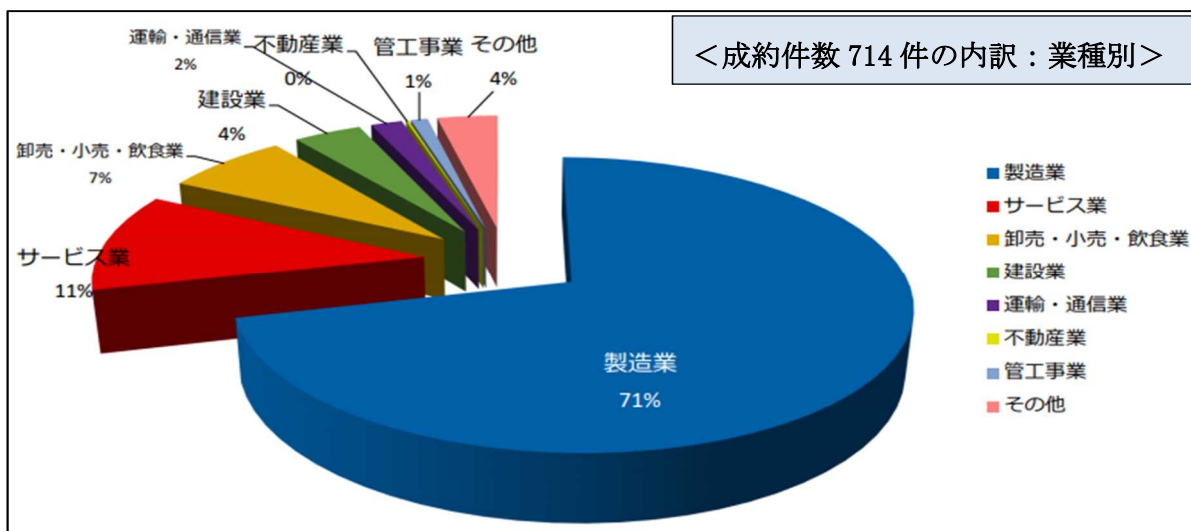
2. 提案・要望の理由

- コロナ禍により多様な働き方がより一層進んでいる社会において、「企業の人材活用」と「攻めの経営への転身」を進めていくことが重要な課題。
- また、中小企業等の経営強化には、専門的な知識・経験・ノウハウを有する外部人材の活用が有効であるが、これには従来の雇用方式（一括採用からの能力開発等）からの転換を促すことなども必要。
- 平成 27 年 12 月に国の委託事業により開設したプロフェッショナル人材戦略拠点事業においては、成約件数や相談件数が着実に増加しており、企業の人材確保に大きな役割を果たしている。一方で、採用したプロフェッショナル人材の離職が新たな課題となっており、人材の定着に向けた取組の強化が必要。
- 採用した人材の定着には、企業と人材のきめ細かいコミュニケーションを通じてミスマッチを防ぐ対策を講じることが重要となるが、これには、今後、プロフェッショナル人材戦略拠点の人的資源を強化していくことが不可欠であり、引き続き地方創生推進交付金等を通じた安定的な財政支援の継続が必要。

(本県の取組状況と課題)

(1) 取組状況

- 滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点では、マネージャー1名・サブマネージャー5名が、丁寧な対話で企業の経営課題解決をサポート。
- 開設から令和4年1月末までの成約実績は714件(全国5位)
- 開設から令和4年1月末までの相談実績は2,983件(全国1位)



プロフェッショナル人材戦略拠点事業の本県での活用事例 【新規事業としてのエビの養殖でブランディングから販路確保・開拓】

- 電子部品の製造等を行うA社が、新規事業として陸上でのエビの養殖事業を立ち上げたところ養殖技術の確立はできたものの、販路開拓とそれを担える人材の不足が課題となっていた。
- 滋賀県プロフェッショナル人材拠点による支援の過程において、中長期的な視点を持った販売戦略の必要性和それに必要な人材ニーズの明確化が図られ、業界に精通している副業人材をマッチング・採用することができた。この結果、商品のブランディングや他社との差別化が進み、養殖エビが首都圏の有名レストランで提供されるなど販路確保と開拓、事業拡大につながっている。

(2) 課題（と対応）

- 採用したプロフェッショナル人材の離職
採用人材の企業への定着を支援。（ミスマッチ回避等）
- プロフェッショナル人材戦略拠点の利用促進
拠点事業の周知徹底、新規訪問企業の開拓。
（県内の中小企業約2,500社を訪問。）

担当：商工観光労働部
労働雇用政策課
産業ひとづくり推進室
TEL 077-528-3713